



演劇で人を、まちを元気にしたい

俳優
まちなかえんげきワークショップfurico代表
磯崎 真一さん (元浜町)

撮影場所：長浜文化芸術会館

「曳山まつりで役者を務めたのが、役者としての僕の『原点』と語るのは、俳優の磯崎さん。

本格的に演劇を始めたきっかけは、高校時代に友達から誘われるままに入った演劇部。「演じることが単純に楽しかった子ども歌舞伎の頃とは違い、独特の緊張感とカーテンコールで拍手を浴びたときの達成感。演劇の面白さを実感しました」と振り返ります。仲間と想いをぶつけ合い、意見をすりあわせて紡いでいくその過程に演劇の奥深さを感じ、さらに魅了されていきます。

俳優を志し、東京で夢を追い続けた10年間は苦労の連続。稽古に明け暮れ、バイトも思うようにできず生活が困窮、焦りと不安の毎日が続きます。それで

も自らの可能性を信じ、声優やナレーションにも挑戦して自分を磨き続けた日々。しかし、突然状況が一変。病に倒れた父親が語ったのは「帰ってきてほしい」。以前なら絶対に口にしなかったこの言葉から、遺される母親を気遣う父親の想いを感じ取り、夢を諦め長浜に帰る決意をしました。

父親の介護や葬儀など大変な日々が過ぎ、再び舞台に立ちたいという気持ちに気づき始めた磯崎さん。諦めたはずの夢を呼び起こし、地域の演劇関係者との繋がりを求め奔走するうち、長浜で演劇を盛り上げたい！と心に火が点きました。

あれだけ多くの人がいたのに孤独だった東京時代。しかし、長浜での活動

では出会いの輪が広がります。そして昨年秋、演劇を通じて人と地域を育む場として「まちなかえんげきワークショップfurico」を設立。「観客というピースが揃って初めて演劇は完成する」という磯崎さんの言葉どおり、演じる人の育成だけでなく、演劇に親しむ文化をまちに根付かせる取組を始めました。「人と人を結ぶ場を作れたのが嬉しい。地域で演劇をやる意味を見出しました。まだ答えてはないですが」とその眼に再び希望の光が射し始めました。

しんどいときは上り坂。ここを乗り越えたら違う景色が見える—

俳優人生で自らに叩き込んだ言葉を胸に、まだ見ぬ景色を求めて挑戦を続けます。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報課（☎65-6504）まで申込みください。



元気いっぱい、笑顔いっぱい！
ぞうちゃん、大好き♡♡
わが家のかわいい宝物だよ！

松井 颯大朗ちゃん
(平成27年12月生まれ)
(小野寺町)



いつも元気なけいくん♡
これからも笑顔いっぱい見せてね!!
4月から幼稚園頑張ろうね!!

中山 恵至ちゃん
(平成25年5月生まれ)
(湖北町速水)

| | | | | | |
|-------|--------------|-------------|-----------|-----------|---------------|
| まちの人口 | 平成28年11月1日現在 | 人口 120,308人 | 男 58,837人 | 女 61,471人 | 世帯数 44,985世帯 |
| | 平成28年10月中の異動 | 転入 233人 | 転出 261人 | 出生 69人 | 死亡 84人 婚姻 41件 |